

【名大の留学サポート】

○安全・危機管理

留学予定の全学生に「安全・危機管理オリエンテーションへの出席」および「海外旅行保険への加入」を義務化

○留学準備講座

交換留学などを目指す学生を対象に語学試験対策、留学の目的やキャリア構築について深める講座を実施

○奨学金・積立金

名古屋大学基金	往復渡航費(全額又は一部)	返済不要!
日本学生支援機構の奨学金	月額6~10万円(派遣地域により異なります)	返済不要!
名古屋大学留学積立金	将来の留学に備えて計画的な積立が可能	中途解約可能

海外留学を経験した先輩の声

渡辺友莉(専門商社勤務)

2012年環境学研究科卒

【交換留学】

アデレード大学

【大学院海外派遣プログラム】

カルフォルニア大学サンタバーバラ校

現在の職場では、取引先への英文作成など語学力の面で頼りにされることがよくあります。ただ私自身が留学で得たものとして一番大きいと感じていることは、困難なときに「どうにかなる」という自信です。留学中はトラブルがつきものです。その一つ一つを自分で乗り越えた経験は、仕事をするうえで心の糧となっています。

川澄侑哉

医学部保健学科1年次に渡航

【海外短期研修を含む科目】

全学教養科目「米国現代事情Ⅰ」

ノースカロライナ州立大学

この研修で僕が得たものは、様々なことにチャレンジし自分の本当にやりたいことを実行に移す行動力です。現地の学生に共通していたことは、やるべきことをこなし、好きなことを大切に、有意義な学生生活を送っていたことです。そんな友人達と過ごしたことで、僕も自分の希望を見つめ直し、長期留学も視野に入れながら勉強の場を広げる努力をできるようになりました。今はスポーツ理学療法士になる目標にどんどん近づいていると感じています。

小久保建吾

理学部1年次に渡航

【海外短期研修を含む科目】

全学教養科目「アジア現代事情Ⅰ」

ウズベキスタン

「客観的に日本を見つめたい」「個人では行きにくい国」と考え、参加を決めました。討論の授業では、現地学生に思うように意見を伝えられず、非常に悔しく、語学の必要性を痛感しましたが、日本語を交えた交流では遊びや趣味の話を楽しむことができました。不安もありましたが、短期でも海外に行くこと見地が広がることを感じ、さらに未知の国へ行ってみようという好奇心が高まりました。また研究のための留学にも興味が高まりました。

留学で
チャンス
を広げよう!

就職情報会社の
グローバル採用担当者に
話を伺いました。

少子高齢化などに伴う国内市場の縮小により、企業は新しい国や地域でビジネスを開拓することのできる優秀な人材を求めています。企業が求める優秀な人材とは、語学力だけではなく、多様な文化や価値観の中で利害関係者をまとめるリーダーシップ力と「日本」を世界に発信したいという明確な意志と情熱を持った人材です。留学は、その力を養うことのできる機会の一つと企業はとらえ、最近では業種に関わらず、留学経験者を採用しようとする企業の動きが加速しています。

留学中は期間の長短に関わらず、目的意識をしっかりと持ち、帰国後の学生生活へつなげることを意識してください。また渡航先で遭遇する大小の失敗や挫折の経験は、仕事を進める際に課題を乗り越えていく力にも通じ、社会人として求められる要素の一つです。留学先での毎日を充実させ、ぜひご自身の可能性を切り拓いてください。

国際教育交流センター海外留学部門

専任教員による留学指導、語学対策講座の企画立案を始め、渡航前オリエンテーション(海外旅行保険、渡航準備、危機管理)を実施しています。帰国後は、報告会やキャリア支援までコーディネートし、留学体験をフル活用できるようサポートしています。

プログラム申込みや個別相談は 受付時間=月一金 9:00-17:00
東山キャンパス 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 国際教育交流センター海外留学部門(国際棟1F)
TEL.052-789-4594 Email.abroad@iee.nagoya-u.ac.jp Website http://ieec.iee.nagoya-u.ac.jp/ja/abroad/
Facebook 名大海外留学室

「留学は強みになる。」

名大の
海外留学
プログラム

121 授業料を不徴収とする
大学間協定*を結んでいる
協定校等の数
2018年3月現在
地域:Area

◎世界に広がる学びの場-----全学交換留学プログラム

海外短期研修を含む科目など





[ニュー・オッティ]
NU-OTI
NU Overseas Take-off Initiative

国際教育交流センター海外留学部門では、
① 全学交換留学プログラム
② 海外短期研修を含む科目などを提供・支援しています。名古屋大学は、「卒業までに学部学生全員が留学」することを目標に掲げて、留学を後押しするこれらのプログラムをNU-OTI(ニュー・オッティ)と呼んでいます。

* 部局間協定に基づくプログラムについての詳細は、所属の学部や研究科の教務窓口へお問合せ下さい。

【**全学交換留学プログラム**】

世界 120 校以上に広がる学びの場
学内選考は年 3 回 (6 月、11 月、1 月)
留学期間は 1 学期間または 1 学年間

- 自分の専門分野や興味のある分野の講義を現地の学生と共に学びます。
- 大学の代表として、勉学への真摯な取り組みと定期的な留学報告などの義務を伴います。
- 所属部局の履修ルール、将来計画などを考慮し長期的な留学計画が必要です。

メリット

専任教員による手厚い留学サポート 協定校選びや語学対策についての個別相談から、渡航前の出願手続き、安全・危機管理などのオリエンテーション、留学中はメールなどで授業や生活などに関する相談に応じ、留学を全面的に支援します。

留学先大学の授業料免除 名古屋大学と多くの協定大学は「授業料不徴収」の取り決めを結んでいます。名大に授業料を納めることで、留学先への授業料支払は不要となりますので、通常の私費留学に比べ、留学費用を抑えることができます。

奨学金などの給付 返還の必要のない日本学生支援機構の奨学金と名大基金による海外留学奨励制度に応募することができます(応募条件有)、毎年約6割の学生が利用しています。奨学金を利用することで、現地で必要な月々の生活費を補うことができます。

【**留学するならトコトン**】

自分の専攻科目を海外の大学で勉強したい

交換留学を志した動機
◆東南アジアの農業に興味を持ち、農学部で有名なタイにあるカセサート大学に留学したいと思いました。(カセサート大学・農学部)
◆高齢者福祉に興味を持っており、福祉国家スウェーデンで、今後の福祉のあり方について考えたいからです。(ウプサラ大学・法学部)

海外の大学で現地の学生と共に勉強したい

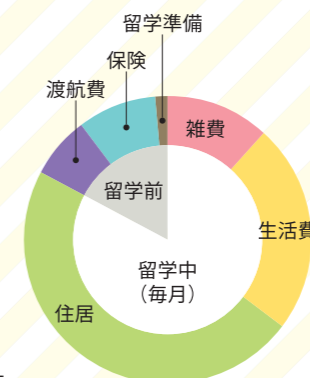
交換留学を志した動機
◆ドイツ経済史を専攻する中で、書籍を読むだけでは掴み取ることのできないドイツの歴史、文化、経済、そして人間性に直接触れてみたいと強く感じるようになったからです。(フライブルク大学・経済学部)

【**気になる留学資金**】

交換留学・10か月

留学準備	2-10万円	住居	3-16万円/月
渡航費	5-20万円	生活費	3-5万円/月
保険	10-16万円	雑費	2万円/月 ※携帯電話、インターネットなど

教科書代、交際費、娯楽費は上記に含まれていません。交換留学OG & OBが実際に必要とした費用です。あくまでも目安です。実際の費用は、国・地域により異なります。



思い立ったら
海外留学入門セミナーへ

はじめの一歩はこのセミナーから留学プログラムや応募条件、奨学金、計画のヒントについて聞ける!

日時	毎週火曜日のお昼休み(学期中) 12:15から30分程度
場所	国際棟

- STEP 1** 海外留学入門セミナーに参加する
↓
STEP 2 留学情報を集める
↓
STEP 3 個別相談で留学計画を前に進める

語学試験対策をはじめよう

交換留学で求められるスコア
TOEFL-iBT80、IELTS6.0以上(英語の場合)
○教養教育院全学基礎科目 特別英語セミナー(資格試験英語)1(TOEFL-iBT)
○留学準備講座 英語(IELTS) 8月・3月(各2週間) 仏語(DELF) 6-8月(全12回程度)

【**海外短期研修を含む科目など**】

名古屋での学習 + 海外での学習 + 成果報告の三部構成

申込時期は年 2 回 (春学期 4-5 月、秋学期 10-11 月)

渡航期間は 2 週間から 4 週間程度

メリット

成績評価による単位(1~2単位)の取得 全学教養科目・言語文化Ⅲ科目では、学内(名古屋)と学外(海外)で行われる講義や演習等を通して各科目の学習目標の達成をめざします。海外での学習や調査を遂行するために十分な知識や方法を渡航前の授業で身につけ、海外での学習でそれを実践し、帰国後の授業で学習成果を発表します。

ゆたかな内容のプログラム 地域研究などの専門講義の受講、フィールドワーク、農村体験、企業訪問など、目的や期間に応じて科目を選ぶことができます。協定大学の学生と交流する機会もあります。語学要件は必須ではありません(一部例外有)。

渡航先での指導と奨学金などの給付 渡航先では名古屋大学および海外拠点の本校教職員が指導・支援します。返還の必要のない日本学生支援機構の奨学金と名古屋大学による渡航費支援に応募することができます(応募条件有)。

交換留学前のお試し留学 渡航先は本学の協定大学です。より渡航期間の長い交換留学への挑戦を見据えて、短期研修を選択する学生もいます。

【**留学の目的はそれぞれ**】



●全学教養科目(春学期) ◇説明会 4月→申込 5月初旬→授業 6-7月→渡航 8-9月→報告会 9月

アジア現代事情Ⅰ 野外調査・遺跡調査を通して、シルクロード文化の理解を深める 渡航期間 8月-9月(2週間) 費用の目安 約23万円 渡航先実績 タシケント国立法科大学、アハラ国立大学、本学ウズベキスタン事務所	アジア現代事情Ⅱ 学生生活・生活体験を通して、対象地域に内在する課題に取り組む 8月-9月(2週間) 約25万円 渡航先実績 モンゴル国立大学、ガジャマダ大学(インドネシア) ※2018年度休講	米国現代事情Ⅰ 米国の大学生生活を体験し、進路やキャリアを考える 8月-9月(3週間) 約55万円 渡航先実績 ノースカロライナ州立大学、本学テクノロジー・パートナーシップ
---	---	--

●全学教養科目(秋学期) ◇説明会 10月→申込 11月初旬→授業 12-1月→渡航 2-3月→報告会 3月

アジア現代事情Ⅲ 日本を含めた東アジア文化を客観的に理解し表現する 2月-3月(2週間) 約19万円 渡航先実績 国立木浦大学(韓国)、延世大学校	アジア現代事情Ⅳ 東南アジアの文化と日系企業の展開を学ぶ 2月-3月(2週間) 約23万円 渡航先実績 チュラロンコン大学(タイ)、本学バンコク事務所	米国現代事情Ⅱ 米国の大学生生活を体験し、進路やキャリアを考える 2月-3月(3週間) 約55万円 渡航先実績 オレゴン大学	欧州現代事情Ⅰ 日本と欧州の文化を客観的に理解し表現する 2月-3月(2週間) 約35万円 渡航先実績 ランス大学(フランス)、フライブルク大学(ドイツ)、ジュネーブ大学(スイス)、本学ヨーロッパセンター
---	---	--	--

●言語文化Ⅲ科目(春学期)

同済大学	中国	約19万
------	----	------

●特別研修 *授業科目ではありません

モナシュ大学	オーストラリア	約56万
モナシュ大学グローバルプロフェッショナル	オーストラリア	約65万
エクス=マルセイユ大学	フランス	約35万

●言語文化Ⅲ科目(秋学期)

モナシュ大学	オーストラリア	約53万
ストラスブール大学	フランス	約25万
フライブルク大学	ドイツ	約35万

●特別研修 *授業科目ではありません

エジンバラ大学	イギリス	約54万
---------	------	------

*費用は、平成29年度実績に基づく見込額です。燃油・サーチャージ等により大幅に変更する可能性があります。国内移動、娯楽等は含まれていません。*詳細はコースシラバスや募集要項で確認してください。*海外旅行保険に加入する必要があります(詳しくは、授業担当者にお問い合わせください)。

*上記以外にも各協定大学主催の短期研修プログラムが多数あります(海外留学室ウェブサイト参照)。協定大学の学生として参加することで、授業料免除や寮の優先確保などの特典が適用されるものもあります。例:梨花女子大学(韓国)、香港中文大学、南イリノイ大学カーボンデール校、フライブルク大学など